



宝塚市立良元小学校 学校通信

良元通信

家庭数
配布

令和6年(2024)11月19日号

校長 狩野 洋光

みんなが幸せになるために②

6年生の作文の続きです。奴隷制度に「なぜ?」と目を向けて考えています。そして「なぜ差別が残るのか」「なぜなくなるのか」の答えを自分で見つけようとしています。さらに、これから自分はどうしていくのかと考えています。

私は、奴隷解放宣言後も、黒人が差別を受けていたのは何でかが分かりませんでした。理由は、黒人の人からしたら、いきなり連れてこられて、きつい生活を強いられていて、やっと解放されたと思ったら、差別が終わらずに続いているのは、おかしいと思うからです。

アメリカの南部の人からしたら、さっきまで地位が違った人が(本来は同じはずですが)、いきなり同じ地位になるということが、受け入れられないかなと思いました。でも、国が奴隷解放宣言を出したのだから、従った方がいいと思いました。

もし、当時私が、黒人奴隷だった子と、学校でクラスが同じなら友だちになりたいです。わけは、今までつらかったことを耐えぬいたということは、忍耐力がとてもすごいからです。さらに、別の国の文化が知れるかもしれないし、英語を教えてくれるかもしれないからです。

外国での差別のニュースを聞くことがあります。が、日本でも差別はあると思います。(中略)

○やっと解放されたのに、自由になったのに、「なぜ」差別が続くの?と疑問を持つことができています。「そんなのおかしいよ。なんで?」と考えていますね。

○差別につながる人間の心の部分について考えています。ときに人は「自分のほうが上だ」と相手を見下すことがあります。そういった考えだと、「同じだよ」ということが受け入れられないのかもれません。

○「私だったら」と考えることができています。

○友だちになって、相手を知り、私のことも知ってもらい、お互いに理解しあうことは、差別やいじめに負けない考え方だと思います。

○今でも差別やいじめのニュースがあります。

何百年も前から差別があつて、みんな差別はいけないと思っているはずなのに、なくなるのは何でだろうと思いました。私が考えた理由は、「周囲の目が気になるから」です。例えば、みんなが同じおそろいの服で、自分だけ違う服なら、ほとんどの人が恥ずかしいと感じると思います。また、たくさんの人が関わりたくないと思っていたら、その周囲の目が怖くて、自分にも何か影響が出るのではないかと思って、何もできないんだと思います。なので、最終的に、私は、前あったことを引きずらない、そうすれば差別がこの世からなくなるんじゃないかなと思いました。私は、人権は絶対に大切だと思いました。そして差別は絶対にやっちはだめだと思いました。まだ、他の国でも差別があるところもあるので、この世から差別がなくなるのか心配です。

私は、差別をなくすことは一人ではできないので、なくすことはできなくても、黒人奴隷制度や差別について、正確に知識を深めて、友だちに伝えることはできます。私は今、自分にできることを探して、頑張ろうと思います。

○この「何で」は、いい疑問です。いけないと分かっているのに、なぜ人は差別をしてしまうのでしょうか。

○考えた理由を「周囲の目」とし、具体的な例まで書いています。

○「^{ぼうかんしゃ}傍観者」、見ているだけ、見て見ぬふりをするようになります。困っている、悲しんでいる人に手を差し伸べられる人でありたいですね。

○リンカーン大統領の伝記から、奴隷制度について考え、人権とは、差別とは、と深く考えることができています。いい作文です。

○広島原爆の被害に遭われた方のお話を思い出しました。

「知らないから、人は差別をする。原爆症は人にうつらないのに、知らないから原爆の被爆者を差別する」

人権学習は、特別な学習ではありません。「みんなが幸せになること」を共に考える学習です。日常の中から、大切にしたいことを見つけたり、「おかしいぞ、これっていいのかな?」と立ち止まって考えたりする学習です。親子人権同和参観・懇談会にご参加いただき、「みんなが幸せになることを」共に考えていきましょう。宜しくお願いいたします。